

## 2022 日本パッケージングコンテスト受賞のお知らせ

この度、日本包装技術協会が主催で毎年開催されています「2022 日本パッケージングコンテスト」において、王子コンテナ(株)、ムサシ王子コンテナ(株)の作品が 4 点以下の各賞を受賞しました。

日本パッケージングコンテストとは公益社団法人日本包装技術協会が主催し、包装におけるデザインからロジスティクスに至るまで、その年の包装の最高峰と優秀群を決定するものです。

今後もこれまでに培った技術に新しい発想を加えた新製品開発と提案を行い、お客様のニーズにきめ細かくお応えしながら、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

## ■ ジャパンスター賞／経済産業大臣賞

## 『海外向けシート輸送固定材のオール段ボール化改善』

スズキ(株)様／王子コンテナ(株)



従来海外向けシート(座席)の発送荷姿には、以下の課題があった。①収容効率が悪い ②スチール材のためコストが高い ③固定時にシートをスライドさせ、36 本のボルト締めなど、作業性が悪い。

今回、軽量で設計自由度が高く、リサイクルしやすい段ボールの採用により、①跳ね上げ防止構造開発、6 脚→8 脚入れ ②コストダウン、リサイクル化 ③固定時のスライド作業、ボルト固定廃止、の改善を実施し効果金額▲3,000 万円/年を実現した。

## ■ 包装部門賞／飲料包装部門賞

## 『1 本飲めば、環境保全活動の第 1 歩！SDGs に沿ったカラフルスムージーパッケージ』

(株)ふくれん様／日本財団「海と日本プロジェクト」様／RKB 毎日放送(株)様／日本テトラパック(株)様／日本ストロー(株)様／王子コンテナ(株)／(株)岡山製紙



6 社協業の「ふくれん×海と日本プロジェクトCHANGE FOR THE BLUE」コラボ商品として、SDGs へ対応した飲料とパッケージの開発および販売促進活動を行った。POP (トレイ、什器) には、デジタル印刷段ボールを採用した。紙パックは、「テトラパックリサイクル便」にて無償回収する。バイオマスプラ(バイオPE)を25%以上配合した「バイオストロー」を採用した。段ボールはリサイクル率90%強の一般段ボールを使用。パックデザインを反映したデジタル印刷を採用した。紙パックに印刷したQR コードから、キャラクター「分別くん」が楽しく「ごみ分別」を伝えるアニメ動画が視聴できる。

## ■包装部門賞／輸送包装部門賞

### 『新開発フラップの反発を抑えるアーチ状罫線』

(株)ADEKA 様／王子コンテナ(株)



強度のある材質を使った0201形でもフラップの反発を抑え、テープ封緘で隙間ができない外装箱を開発した。従来、フラップの反発を抑える方法として、0201形のフラップ罫線を段違いにし全抜き加工していたが、0201形の製造よりも1工程多く、コストアップとなっていた。そこで、外フラップに円弧状の罫線を追加し、外フラップの反発力を低減させ、内フラップの罫線下にも罫線を追加し、フラップを重なりやすくした。この結果、0201形と同じ工程で製造でき、段ボール使用量を約6%削減、リードタイムも短縮することができた。

## ■包装部門賞／工業包装部門賞

### 『F.C.C.31H 北米向け八角カートン』

(株)エフ・シー・シー様／ムサシ王子コンテナ(株)



ATV(四輪バギー)用の駆動系部品の包装で、アメリカの組立工場へと輸出される。これまでもコストダウンと梱包作業改善を行ってきたが、梱包現場は深刻な人手不足の問題を抱えており、作業工数の削減は急務であり、包装仕様改善を実施すべく、新包材の開発に着手した。外装箱の八角形化、外装箱の底面のアメリカンロック部と付属仕切材を一体構造化を行った結果、箱形状の変更による箱圧縮強度向上による材質見直し、底部構造と材料ロス低減の工夫などの改善を施した。この結果、包材コスト-35%、組立工数-20%を実現した。

なお入賞作品は、2022年10月12日(水)～14日(金)の期間、東京ビッグサイトにて開催される「東京国際包装展(東京パック2022)」特別ブース『2022 グッドパッケージング展』にて展示されます。

詳しい問合せは 当社営業本部 CS 推進部 山本 までご連絡ください。

メールアドレス : [yamamoto2135ta@oji-gr.com](mailto:yamamoto2135ta@oji-gr.com)